**クミコと英介のおしゃべりコンサートVol.7**

『わが麗しき恋物語』で、"音楽をあきらめていた大人たち"から絶大な支持を得ているクミコと、秀麗な女形として、"演劇をあきらめていた人たち"に希望と感動を与え続けている篠井英介の、他では聞けない、あの歌、この話・・・



この公演は、2013年7月より毎年1回のペースで行ってきました。今回はその7回目です。

内容は、嘗てお二人がまだ無名だった時代に、本音をぶつけ合い、夢を語り、夢に向かって進んでいた時代の想い出話から、昨今のきな臭い時事批評までを、軽い笑いを交えて楽しんで頂くトークショーと、他では聞くことの出来ないお二人のコンサートなどを披露する、バラエティショーです。

○第一部では、お二人のトークショー。

○第二部では、篠井英介のコンサートと朗読コーナー。

○第三部では、クミココンサート。

となります。どうぞ、お楽しみ下さい！

**2020年3月13日（金）15時30分開場／16時開演**

**於：清瀬けやきホール**

**公演詳細**

タイトル●クミコと英介のおしゃべりコンサートVol.7

　　日時●2020年3月13日（金）　15：30開場／16：00開演

　入場料●一般前売 4,000 円／一般当日 4,300 円

友の会会員 3,500 円／シルバー3,700 円(65 歳以上) ／ペア 7,500 円

　　会場●清瀬けやきホール　　tel.042-493-4011

（西武池袋線 清瀬駅北口から徒歩4分）

　　　　　東京都清瀬市元町1-6-6

チケット取り扱い■

* 清瀬けやきホール　　tel.042-493-4011
* Ｋ・企画　TEL.03-3419-6318

HP<http://www.k-kikaku1996.com/work/kumiko/kumiko-eisuke/index.html>

出　演■クミコ

　　　■篠井英介

ピアノ■大貫祐一郎

予定曲目■おしまいのはじまり

* わが麗しき恋物語
* 妻が願った最期の『七日間』
* 愛の讃歌／他

　　　　（※演出の都合で曲目変更する場合があります）

主催：清瀬けやきホール（アクティオ株式会社）

企画：Ｋ・企画（菊地 廣）

協力：プエルタ・デル・ソル**／**ミーアンドハーコーポレーション

**＜クミコ　プロフィール＞**

1982年シャンソニエの老舗・銀座「銀巴里」でプロ活動をスタート。

2002年「わが麗しき恋物語」が、“聴くものすべてが涙する歌”としてヒットし一躍脚光を浴びる。  
2007年デビュー25周年を迎え、中島みゆき書き下ろしの新曲「十年」がヒット。

2010年、「INORI〜祈り〜」で第61回NHK「紅白歌合戦」初出場を果たす。

2014年、NHK朝ドラで話題となったスコットランド民謡「The Water Is Wide」の日本語版「広い河の岸辺〜The Water Is Wide〜」をリリース、ニュース番組・ドキュメンタリー番組にも取り上げられロングヒットに。

2016年、“クミコｗｉｔｈ風街レビュー”を始動、デビュー35周年を迎える翌2017年９月、全作詞：松本隆、サウンドプロデュース冨田恵一、作曲陣に横山剣、菊地成孔、村松崇継、秦基博などトップクリエーターを迎えたアルバム「デラシネ」をリリース、日本レコード大賞優秀アルバム賞を授賞。

2018年９月にはメジャーレーベルでは異例となるシャンソンフルアルバム「私の好きなシャンソン～ニューベスト～」をリリース。

2019年６月、酒井政利プロデュースによる話題の書籍を楽曲化した「妻が願った最期の『七日間』」をリリース、『ある夫婦の愛の詩～ふたりの最期の七日間～』としてその純愛物語が大反響を呼び、多くのメディアに取り上げられたほか、楽曲にも共感と反響が大きく、各界の著名人がメッセージを寄せた特設サイトが開設しメディアやSNSで大きな話題となるなど、引き続き様々なメディアや全国各地でのコンサートなど各方面で精力的に活動中。

**＜篠井英介プロフィール＞**

石川県出身。日本大学芸術学部演劇学科卒業。

1984年に友人らと共に劇団「花組芝居」を旗揚げ。1990年に退団する。

以降、数々の舞台で現代演劇の女方として活躍。

主な代表作品に『欲望という名の電車』（主演：ブランチ役）や『サド侯爵夫人』（主演：ルネ役）、『天守物語』（主演：富姫役）など多数。

近年の舞台作品では劇団☆新感線「ヴァン・バン・バーン」（2016年）、「グローリアス！」（2017年）、パルコプロデュース「ウォーター・バイ・ザ・スプーンフル」（2018年）に出演。

中性的な役や悪役など、独特な個性で異彩を放ちドラマ、映画などでも活躍するほか、バラエティ番組にも多数出演。

主な出演作品は

**《ドラマ》**

連続テレビ小説『まれ』（NHK）、『下町ロケット』（TBS）『相棒16』（ANB）『ニッポンノアール』（日本テレビ）、『昭和元禄落語心中』（NHK）

**《映画》**

『探偵はBarにいる3』（吉田照幸監督）、『相棒』～劇場版Ⅳ～（橋本一監督）

**《バライティ》**

『秘密のケンミンSHOW』（NTV）、『バイキング』（CX）、『日本の城見聞録』（BS朝日）

など、多数。

また、NHK第1ラジオ『マイあさラジオ～私のお気に入り篠井英介のシアターへの招待』では月に1度、おすすめの舞台を紹介するコーナーのパーソナリティーを担当。

2014年に石川県観光大使を任命され、地元石川県の振興にも努めている。

**＜大貫祐一郎（ピアノ）プロフィール＞**

東京生まれ

７歳からピアノを始める。洗足学園大学音楽学部ピアノ科卒業。

三澤慶子氏、深井克則氏に師事。

在学中にＮＨＫ公開生放送、ＮＨＫホールにて前川清、田代ユリ等と共演。

卒業後は芦野宏、ペギー葉山、上條恒彦、叶正子（サーカス）、　クミコ、井上芳雄、鶴田さやか、杉田真理子、等、シャンソン、ジャズ、ポップス、と様々なジャンルで活動する。

最近では、クミコのバンドマスター兼音楽監督のほかに雪村いづみさんとの共演も多く、

また、奥村愛（バイオリン）、オーケストラアンサンブル金沢ポップスコンサートにて、大橋純子、サーカス、布施明、渡辺真知子に提供したアレンジが高い評価を受け、編曲家としても注目されている。

前田憲男指揮、東京交響楽団と共演。